

もっと清水が好きになる。

しみずの風

2017

1

No.519

【しみずの農産物 いろはカルタ】

ポンカン



特集

感謝御礼『アグリフェスタしみず』

わ

綴じ蓋 と 破れ鍋に

《意味》
夫婦を鍋と蓋にたとえて、
壊れた鍋には綴じ蓋くらい
が釣り合いが取れるという
意味。「綴じ蓋」は壊れた部
分を修理した蓋のこと。

新春のごあいさつ



代表理事組合長

柴田 篤郎

自己改革の着実な実践へ

次期3か年計画に総力を挙げて「ともに取り組む」

新年明けましておめでとございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

農業やJAを取り巻く情勢は厳しさを増しており、昨年11月には、突然政府の規制改革推進協議会において、農協改革案が提言されました。私たちJAグループは「自主的な協同組合事業への不当で過剰な介入である」と猛反発しましたが、一部は削除されぬままの状態です。改革は、基本JAの自己改革に委ねられることから、着実な実践を図るため、基本目標に沿って取り組んで参ります。

また米国政府・議会の新たな体制が確定したことにより、TPPの取り扱いも含めて、今後の米国の政策は未知数です。JAグループとしては、わが国政府に徹底した情報収集をお願いして参ります。衆議院の審議において、政府は「国益を損なうような協定の再交渉には応じない」と繰り返し答弁しており、この方針を堅持いただきたいと考えております。

そして、本年は「JAしみず3か年計画」次代につながる協同の力」の締めくくりと、次期3か年計画のスタートの年となります。また、農協改正法に沿った役員改選の年にあたります。次期3か年計画のキーワードは「ともに取り組む」です。JAの強みである組織力を生かすた



Photo by Shiro Sugiyama

め、組合員の皆さま、そしてJAがそれぞれの役割を發揮して取り組みを進める必要があると考えます。

販売の強化、コスト削減や、営農指導員の資質向上などJAに課せられる役割は大きいものがあります。組合員の皆さまをはじめ、地域の方々の暮らしの豊かさを実現するため、総合事業を生かした適切なサービスの提供や、暮らしを支える協同組合の展開に取り組みます。

こうした中で、当JAでは組合員の皆さまの生の声を吸い上げるため、昨年、認定農業者の方々との座談会を各地域で開催し、清水の農業やJA事業についての意見交換を行いました。寄せられた貴重なご意見は、積極的に取り入れて参りたいと存じます。

また、次年度は営農経済事業の機構改革を予定し、昨年13回にわたる説明会を実施いたしました。より良いサービスの提供を目指して、ご理解をいただきながら機構改革、業務効率の向上を図っていく計画です。指導業務の充実に関しては、県内でも先駆けて、昨年からは営農指導員が支援ツール(タブレット)の携帯を始めました。業務効率化、組合員の皆さまの情報蓄積・視覚に訴える指導体制を二層整えて参ります。

購買事業では、1個からでも生活購買品の無料配達サービスを行い、災害時の備えとして発電機やボトルウォーター

の配達などもラインアップに含めました。暮らしの豊かさを実現するため、より使いやすい事業にして参ります。

開発事業では、県営畑地帯総合整備「新丹谷地区」の事業が完成しました。実施中の茂畑、加瀬沢、矢部地区の整備も終盤を迎え、仕上げの段階となっております。今後も新基盤整備事業の候補地を選定し、事業化に向けた取り組みを継続して参ります。

特徴的な取り組みの一部をピックアップいたしました。その他すべての活動は、「農家組合員の農業所得向上」「地域社会への適切なサービス提供」のため、取り組んできたものです。本年も引き続き、皆さまに「農協があつて良かった」と言っていただけよう、役員一同、総力を挙げて目標に向かって取り組んで参ります。

農協運動へのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまにとって健やかで恵みの多い年となりますよう心よりご祈念申し上げます。あいなさつとさせていただきます。



おかげさまで
今年も大盛況でした♪

アグリフェスタ しみず 2016



14ページ
QRコードで
チェック!



会場内には試食品もたくさん。どうぞ召し上がれ!



ユニフォームを一新!
CWOユニット on STAGE



野菜ソムリエが地元野菜を使った料理を実演



「清水のミカン」の音楽にのって、
楽しく体操♪



JA大北特産のりんごは毎年人気



ちびっこ消防隊員、出動です!!



お茶の香りが漂います



シズラ&かんたくんとジャンケン大会

清水区広報キャラクター
「シズラ」も大活躍

🕒 ステージプログラム

- 9:00 パルちゃん&
オレンジウェーブショー
- 9:30 CWOユニットonSTAGE
- 10:00 海辺deコンサート
- 11:00 仮面ライダーエグゼイドショー①
- 12:00 キラキラみかん体操
- 12:20 ダンスステージ①キッズダンス
- 12:40 ダンスステージ②ジャズダンス
- 13:00 ジャンケン大会・餅まき
- 13:20 カントリーバンド演奏
- 14:00 仮面ライダーエグゼイドショー②
- 14:50 閉会式
- 14:55 餅まき



毎年多くの人でにぎわう農業祭「アグリフェスタしみず」。今年は11月27日(日)に清水マリノパークで開催しました。

前日の夜から降り出した雨が心配されていましたが、開会式の上には上がり、会場にはお買い得で新鮮な農林水産物がスラリ。手作りおでんや豚汁などの露店も並び、特設ステージでは子どもたちに大人気の仮面ライダーショー、市民楽団と地元中学校の吹奏楽部によるコラボ演奏など、多彩な催しが行われました。

あいにく午後は再び天候が肌を刺す、予定していた餅まきに代わって餅を配布するなどの変更もありましたが、多くの家族連れなどが訪れ、約2万3千人が来場しました。

パルちゃんもやってきたよ!! J1復帰です!!



サトイモの詰め放題



カントリーバンド「Mountain Grass」の生演奏♪



親子であぐりんは、育てたサツマイモでおやつを販売



四季菜のピザやパンが付いたお茶カフェセットが好評

ミカンの皮むき選手権。細く長〜くむいてね!



列ができるほどの人気だったJA大北の振る舞い餅



山田組合長(右)もおもてなし

恒例の餅まきは今年も大盛況!!

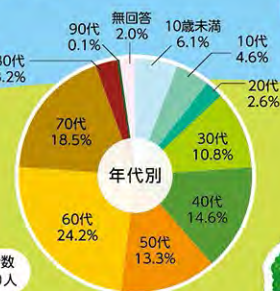
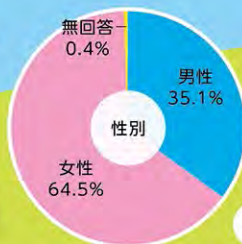


立派な野菜の船盛りも展示されていましたよ

来場者に聞きました!

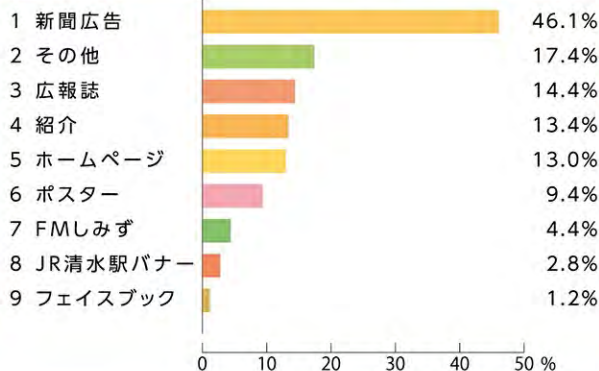
アンケート結果報告

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で50名様に、イチゴ・ミカンから選べるお楽しみプレゼントを12月下旬にお届けしました。

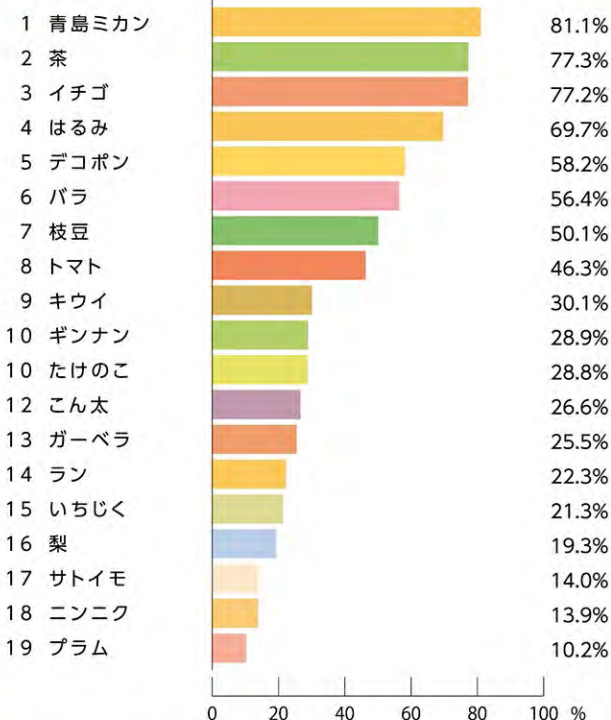


回答者数 1,370人

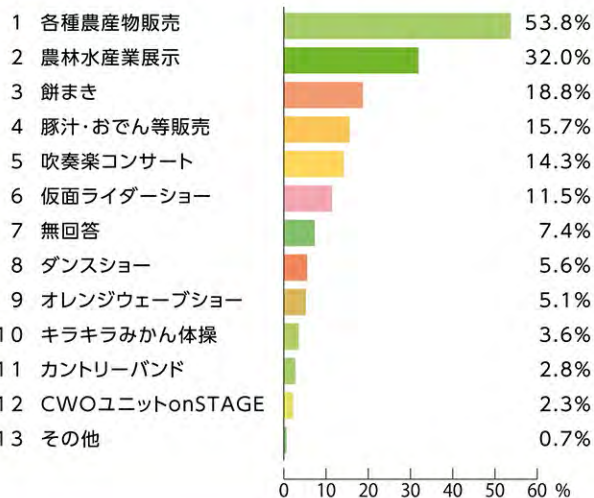
Q. 本日のイベントを何で知りましたか?



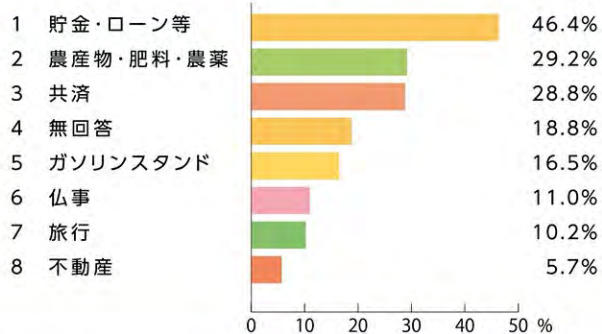
Q. あなたの知っている清水の農産物は何ですか?



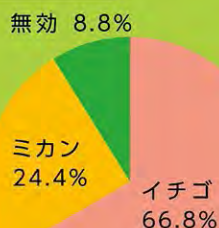
Q. 本日のイベントの中で何が楽しかったですか?



Q. あなたが利用しているJALしみずの事業を教えてください。



プレゼント希望



Q. 本日のイベントやJAへのご意見・ご感想をお聞かせください。

清水の活気を感じるいいイベントだと思います。毎年母が安くて良い農産物を買えてうれしそうです。
(10代・女性)

お店の出店が多く楽しめました。スタンプラリーも良かったです。プレゼントのシールとミカン、うれしいです。
(40代・男性)

雨の予報だったので心配でしたが、中止にならなくて良かったです。今年もたくさん良いお野菜が買えてとってもうれしいです。来年も楽しみにしています。
(60代・女性)

毎年楽しませていただいています。すぐ売り切れるので、もう少し長く楽しみたいです。
(70代・男性)

6歳と3歳の子どもも含めて1日楽しめるイベントでとてもよかったです。
(40代・男性)

お花やお野菜を安く購入でき、地元清水の特産を知る良い機会となりました。今後JALしみずをもっと利用したいと思います。
(60代・女性)

清水の農村風景を再発見



アグリ・ウォーキングしみず2016

今回で9回目を迎えた「アグリ・ウォーキングしみず」を
12月10日に開催しました。

今回は尾羽・新丹谷地区を歩く約13.3kmのコース。澄み切った冬空の下、
約350人が農村風景とウォーキングを楽しみました。



ふるさと農道ウォーキング

- スタート **JALしみず本店**
▼ 約2.7km
- 尾羽ビューポイント**
▼ 約6.3km
- 新丹谷ビューポイント**
▼ 約2.4km
- アンテナショップきらり**
▼ 約1.9km
- ゴール **JALしみず本店**

みどころ+

新丹谷ビューポイント

整然と整備されたミカン畑と新東名の線形が美しく調和した景観や世界文化遺産の構成資産に登録された三保の松原が一望できます。



適度な水分補給が大切です。



「清水のお茶」ボトル缶受付では、参加者全員にお茶をプレゼント。



新丹谷農作業準備休憩施設から見える景色



畑総原地区



みどころ+

尾羽ビューポイント

基盤整備されたミカン畑と清水のまちや港が一望できます。



畑総尾羽地区完成記念碑



みどころ+

アンテナショップきらり

- ・清水のミカンフェアを同時開催!
- ・ミカンの販売・予約
- ・お茶・紅茶の販売(詰め放題)etc...

GOAL!
約3時間でゴール!
お疲れ様でした



START!
JA本店で受付をして出発!



スタート地点



お土産にお茶の煎パックとミカン、記念の缶バッチをプレゼント。

青壮年部が複合作物取り組み

直売向けブロッコリー導入

青壮年部は昨年より、直売所向けにブロッコリーの栽培を始め、11月10日から12月末まで約3,000株を出荷しました。

特産のミカンや茶との複合作物に、栽培しやすい野菜として選択。農業経営の安定につなげようと、営農部と連携して部員15人が8月下旬～9月上旬に早生品種2種3,400株の苗を10aに定植しました。9月の日照不足で予定していた収穫期より2週間ほど遅れましたが、品質は良く直売所での売れ行きは上々。

青壮年部の杉山祥丈部長は「野菜栽培の経験がなくても、組織でなら取り組みやすい。ほかの野菜も増やし、青壮年部ブランドで売ってきたい」と話し、収穫量が増えてくれば、姉妹提携先の長野県・JA大北の直売所でも販売する予定です。



農業経営安定のため、ブロッコリー栽培に取り組む部員たち▲

話題の TOPICS

各地域の活動やイベントを紹介

自民党二階幹事長に提案書提出 基盤整備事業推進を訴え

静岡市土地改良連絡協議会は11月17日、会長の柴田篤郎組合長はじめ、各土地改良区理事長4人で東京自民党本部を訪れ、全国土地改良事業団体連合会長である二階俊博幹事長と面談しました。

柴田会長らは、急傾斜な農地を平坦化する基盤整備事業の積極的な推進を求め「農地基盤整備事業による強い農業と活力ある農村機能の構築」と題した提案書を二階幹事長に手渡しました。守りから攻めの農業を展開すべく、大規模な農地基盤整備を進め、担い手が魅力を感じて取り組む農業・環境保全や国土強靱化に向け、農業と農地の持つ多面的機能の早期発現のため、さらなる予算確保と事業の積極的な推進を提案しました。



▲二階幹事長(中)に提案書を手渡した土地改良区の理事長ら

土地改良連絡協議会 財務省・農林水産省へ予算要請

2017年度農業農村整備事業予算編成に対する要請のため、静岡市土地改良連絡協議会は11月22日、会長である柴田篤郎組合長と各土地改良区理事長4人が国の関連省庁を訪問しました。

財務省では木原稔副大臣・茶谷栄治主計局事務次官、農林水産省では佐藤速水農村振興局長を訪れ、その後衆参両議員会館でも国会議員へ要請活動を行いました。

急傾斜な農地を平坦化した基盤整備地の事業完了した地区では、生産性や労働条件が飛躍的に向上し、農業の担い手となる若い後継者が多く育っていることなど、大きな効果を発揮していることを伝え、整備推進に向けた一層の予算確保を要請しました。



▲土地改良区理事長らが木原副大臣(中)を訪問し、事業予算の確保を要請した

大日本農会が農事功績者を表彰 「緑白綬有功章」に高橋さん

農業発展に対する功績の顕著な農業従事者に贈られる公益社団法人大日本農会(総裁:秋篠宮文仁親王殿下)の2016年度(第100回)農事功績者表彰で、清水区梅ヶ谷の高橋章夫さんが「緑白綬有功章」に選ばれ、表彰されました。今年の緑白綬有功章は全国から50人で、静岡県では1人だけ。

高橋さんは、企業的な大規模経営や高糖度トマト「アメーラ」のブランドを確立したほか、県農業法人協会を設立し、経営の大規模・法人化のリーダーとして貢献。表彰式は11月17日に東京で行われ「秋篠宮殿下とお話ができ、大変光栄」と喜びを語りました。

現在は、キンカン「こん太」の栽培に取り組み「もうかる農業の構築のため、今後力も注ぎたい」とますます意欲を高めていました。



▲表彰式に出席した高橋さん夫妻

新品種「きらび果」導入進む ハウス苺部会が目ぞろえ

清水区北部の生産者で構成するハウス苺部会は12月6日、生産者とJA、市場関係者らが集まり、果形や着色などの出荷規格を確認する目ぞろえ会を集出荷センターで開きました。2016年産は全国的に出荷が遅い傾向で、初出荷は11月9日。県下では2015年にデビューした新品種「きらび果」の作付率が13%であるのに対し、同部会では8割強の生産者がきらび果を導入しており、静岡VFの担当者は「紅ほっぺよりもワンランク上の販売をしていきたい。ぜひとも県下のリーダーになってほしい」と呼び掛けました。

同部会では20人が217aできらび果と紅ほっぺを栽培。市内と新潟の市場へ6月上旬まで約84tを出荷する予定です。



▲果形など出荷規格を確認する部会員たち

両河内茶業会が摘芯 最高級茶「高嶺の香」の冬支度

静岡茶市場の新茶初取引で、37年連続して最高値をつける高級茶「高嶺の香(はな)」を栽培する両河内茶業会は11月15日、清水区清地の栽培茶園で茶の冬支度「摘芯」作業を行いました。

来年の一番茶に向けて樹の頂部を切り落として茶樹の成長を一時的に止めることにより、春に伸びる新芽に養分を集中させ、高品質な一番茶を育てるために毎年行っているもの。

茶業会のメンバーら15人が、一枝ごと枝の伸び方を確認しながら、はさみで丁寧に頂部を切り落としました。

青木功会長は「来年の初取引でも、茶業会に明るい話題を提供できるようにしっかりと管理していきたい」と話していました。



▲来年一番茶に備え、樹の頂部を切る「摘芯」を行った会員ら

親子であぐりん収穫祭 育てた作物収穫し、販売まで体験

女性部食育クラブ「親子であぐりん」は11月20日、清水区草ヶ谷の畑で収穫祭を行い、サツマイモ、サトイモ、ショウガなどの収穫を楽しみました。

参加者らは大きく育った作物を土から掘り取り、見たことのない虫を発見して驚いたり、収穫体験の醍醐味を味わっていました。

11月27日に開いた農業祭「アグリフェスタしみず」では、

収穫したサツマイモでメンバーがお菓子を作り、子どもたちも一緒に調理を手伝ったり売り子をしたりして、栽培から販売までを体験しました。



▲大きく育ったサツマイモを収穫する親子

蒲原西小学校3年生 基盤整備と地元ミカン栽培学ぶ

静岡市立蒲原西小学校3年生20人は11月29日、ミカンの収穫体験を通じて地元の基盤整備事業について学ぶ食農教育出前講座を行いました。静岡県と土地改良区、当JAで構成する清水ブランド「きらり」協議会が主催したもの。

児童らは、学校から県営畑地帯総合整備事業の蒲原東地区まで徒歩で移動して蒲原の地形変化について学び、かつて使われていたミカンを運ぶ道具をかつぐ体験などをしてから、ミカンを収穫。帰りはミカンを入れたびくを交代

で学校まで運ぶ体験をしました。

12月7日には、基盤整備地への理解を深める紙芝居や、農家への質問コーナーを設けた授業も行われました。



▲収穫したミカンを味わい、笑顔を見せる児童

組合員とともに 取り組む

次期3か年計画樹立へ



第51回静岡県農協大会開催

静岡県JAグループは12月11日、第51回静岡県農業協同組合大会を静岡市内で開催しました。この大会は、次期3か年計画大綱とともに拓こう、協同が輝く時代に向けて、取り組みの主役となる組合員の皆さんと役職員が共有する大切な場です。

JAグループは今、十年後の将来像「農業を主軸とした地域協同組合」の旗のもとに、「農家組合員の農業所得向上」、「地域社会への適切なサービス提供」を柱とした自己改革に取り組んでいます。しかし、協同組合の本質を見ない政府・官邸の急進的な改革圧力はむしろ高まっています。

今回の大会で採択する次期3か年計画のキーワードは「ともに取り組む」です。JAが協同組合本来の姿に立ち返り、ともに計画を作り、実践し、成果を共有することで、組合員とJAの結び付きを強めることが、計画の達成に必要なからです。

次期3か年計画の各施策は、「組合員の思い・願い」を起点にしています。農家組合員の最大の願いは農業所得の向上です。JAの強みである生産者組織を生かし、個々の農業経営と産地力の維持・向上が取り組みの柱となります。販売の強化、コスト削減と

合わせ、組織力を生かすため組合員・役職員がそれぞれの役割をともに発揮して取り組みを進めます。

JAはこれまで、地域に根ざした協同組織として大きな役割を果たしてきました。暮らしの豊かさを実現するため、総合事業を生かした適切なサービスの提供や暮らしを支える協同

活動の展開に取り組めます。正准組合員や地域住民の参加・参画を促し、地域になくってはならない存在であるJAを目指します。

これら施策の実現には安定したJAの経営基盤が必要です。民主的運営のもと、財務基盤の確保によって健全経営を進めていきます。

3か年計画や自己改革の取り組みは、組合員の皆さんに「JAはよくやってくれた」と言ってもらえて初めて成果となります。皆さんとの徹底した話し合いを通じてともに取り組み、計画を達成してまいります。



第51回静岡県農業協同組合大会

リスクアドバイザー

赤堀の ちょっと いい話

50年ぶりの再会

今号は中学校の同窓会に参加しての話題を。

11月上旬、中学の同窓会に参加しました。ほとんどの同窓生とは中学卒業以来、50年ぶりの再会です。頂上付近がうっすらと冠雪した富士山を背に、心の高ぶりを感じながら会場に向かいました。

受付を済ませると、見覚えのない女性の方から「赤堀さんですよ。私、旧姓〇〇と申します。『しみずの風』のコラム、毎月楽しみに拝見させていただいております。これからもがんばってください」と声を掛けられました。また別の方からは9月号掲載の「金谷用水」に関しての話がありました。同窓会の場で、『しみずの風』に関する話題が出るとは、思いもよらないことでしたが、とてもうれしかったです。発行部数

中学の同窓会に はじめて参加して

一万部の重みをあらためて感じました。これからの執筆の励みになります。

幹事の話によれば、私たち同級生は7クラス計314名で、物故者1割、住所不明者2割で、開催案内状発送は200通とのこと。今回は88名参加なので、卒業時人数の28%の出席率とのこと。参加を希望しても、当日がほかの行事と重なったり、本人を含めた家族の健康事情、経済的な事情等により、すべての方が参加できる状況にないことは想像できます。

最近同窓会に参加した私たちと同世代の友人も、参加率は3割だったとのことでした。このくらいの参加率が一般的のようです。

私たちの同窓会は、10年前から5年単位で開催し、今回が3回目です。私自身も、過去2回は仕事上の都合で欠席し、今回初めて参加できました。7クラスから選出の幹事の皆さんが、半年間掛けて準備にあたってくれたおかげで、映像あり、ゲーム

あり、歌ありと、大変楽しいひとときを過ごすことができました。

50年ぶりの再会なので、声を掛けてくれた方がどなたなのかすぐにはほとんど分かりませんでした。名札で旧姓を確認させていただいたり、話をしていううちに次第に記憶が戻ってきたりするものです。

中学校の頃の思い出や卒業後50年の人生に関する話題や最近の生活の話題と、話は尽きません。定年後の第二の人生を前向きに歩んでいる方、健康を害して今も闘病中の方、伴侶や子どもさんを亡くされた方等、いろいろな方とお話をすることができました。

生徒会活動で大変お世話になったA先生とお話する機会にも恵まれました。

本当に今回参加できてよかったと思いましたが、幹事の皆さんの取り組みに心からお礼を述べ、再会を約束して、会場を後にしました。



Profile

赤堀三代治 氏

ARMS(アカホリリスクマネジメントシステム)を主宰。全国各地でコンプライアンスやリスク管理をテーマにした研修、講演、コンサルティングを行う。2014年6月からJAしみず理事



レ・ジ・ピ。



「カンタン」「ナットク」料理のヒ・ケ・ツ教えます♪

14ページ
QRコードで
チェック!



白ネギのしぞ〜かアヒーショ

〜とろっとした白ネギの甘さを味わうオイル煮。シラスやワサビがアクセント!〜

材料 1〜2人分

白ネギ(太めのもの)……………2本
オリーブオイル……………大さじ6
ワサビ……………1〜2cm
昆布茶……………小さじ1
ドライトマト……………10g
松の実……………10g
釜揚げシラス……………30g

作り方

1. 白ネギは3cm長さに切りそろえる(a)。ワサビ、ドライトマトはみじん切りにし、オリーブオイル、昆布茶とともに、小鍋に入れて混ぜる。
2. 鍋の周囲を少し空けて、中心部から白ネギを立てて並べる(b)。点火し、弱火でゆっくり加熱する。
3. 5分ほどしてネギの中央から油がフツフツと湧いてきたら、ネギを返し、さらに5分加熱する。
4. 鍋周囲の空いている部分に松の実と釜揚げシラスを散らし、芳ばくなるまで加熱すればできあがり。

POINT!



白ネギは丁寧に長さをそろえて切りましょう。出来上がりの見た目がキレイに仕上がります。



ネギの下1/3〜半分程度がオイルにつかるように、鍋の大きさによってオイルの量を調整してください。

アレンジ
メニュー



ネギ油のチャーハン

ネギを食べた後の鍋に、炊き立てのごはんを入れてチャーハンに。卵の黄身を落とし、お好みで細かく切ったハムやベーコン、ネギの青い部分などを加え、おこげを作りながら混ぜます。
油がたくさん残っていたら、ごはんを入れる前に別の容器に移して保存しておくで「ネギ油」として使えて便利です。

【旬と季節のまめ知識】



白ネギ

独特な「硫化アリル」臭のためか、古来より民間療法で用いられてきたネギ。白ネギは周囲に土を寄せて日射をささげり、甘く、白く、長く、柔く…と「軟白栽培」で作られます。夏場の辛味を生かした葉味もいけれど、寒さの中、自らが凍らないようにと糖分をため込んだ冬場の「甘いネギ」はまた格別。白い部分は淡色野菜。少量ずつながら多種類のビタミン・ミネラルを含みます。緑の部分は緑黄色野菜。丸ごと全部食べ寒い冬を乗り切りましょう。



遠山 由美

シニア野菜ソムリエ
NR、食育プロデューサー
他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号
取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。



〔11月7日開催〕

ミカンの収穫体験
& 柑橘共選場の見学



清水の名産物といえば、お茶とミカン。今回は、冬に最盛期を迎える「ミカン」を知る！「ミカンの収穫体験&柑橘共選場の見学」です。

JAの柑橘共選場は、生産者が収穫したミカンを持ち込み、品質をチェックして青果市場へ出荷する施設。共選場でどんなことが行われているのかを学んでから、新東名高速道路清水いはらインターチェンジ近くの畑で、収穫を楽しみました。

「ハーベストカレッジ」は清水区に住所20140代の女性を対象にしたカルチャー講座です。

14ページQRコードでチェック!



ミカンの選果が行われている柑橘共選場を見学



品質をチェックしたミカンは、ラインを流れて段ボール箱へ

柑

柑橘共選場では、消費者にのしいミカンを届けるため、集められたミカンに傷や腐りがないか、人の目で確認した後、光センサーで糖度や酸味、大きさや見た目を1個ずつ測定。たくさんさんのミカンがどんどん流れていき、チェックした糖度や色などの品質別に箱詰めされていました。受講生たちは、普段見ることのできない流通の裏側を知り、楽しみました。

続

いては、ミカンの収穫体験!



11月は早生ミカンの季節です。オレンジ色の濃いミカンを探して、ハサミで収穫。樹から切った後、ヘタがほかのミカンを傷つけないように、もう一度ヘタを短く切り、カゴへ入れていきます。収穫が進むにつれ、だんだんとカゴが重くなってきます。農家の人の苦勞を感じながら、初めての収穫体験を楽しんだ受講生たち。収穫したミカンは、甘くてとってもおいしかったです。



10月下旬~11月に旬を迎える早生ミカン



傷を付けないように、丁寧に収穫



たくさん収穫できました

ミカン畑と新東名、駿河湾を眺めることができる新丹谷土地改良区



最後に、2012年度に静岡県景観賞を受賞した新丹谷地区へ。ここは、30年前まで山だった場所を県営畑地帯総合整備事業により、山を削って谷を埋めて平坦化された地区です。

平

坦な畑だと体への負担はかかなり、品質の向上や収穫量の増加にもつながっているそうです。現役の農家が農業を続けられる環境を整え、また次世代に農業をアピールする努力がされていることも知りました。

清水のミカンは、これから

青島ミカンを中心に、さまざまな品種が出荷されます。

ぜひ味わってくださいね。



この冬、貯金は、JAへ。
WINTER CAMPAIGN
冬の定期
キャンペーン

お預け入れ金額 **20万円以上 1,000万円未満**

期 間 **1月20日(金)まで**

組合員または
組合員同居ご家族
スーパー定期1年
店頭表示金利に
0.15% 上乘せ
※新たに仕入をいただいた方も申し込み対象となります。

組合員以外の方
スーパー定期1年
店頭表示金利に
0.10% 上乘せ

今なら! **抽選でもらえる!**

期間中、定期貯金をご契約いただくと「ちょリスグッズ」をプレゼント!

 小銭入れ

 オリジナル
ポッキー

 ブランケット

さらに! **抽選で農畜産物カタログギフトが当たる!**

JAバンク静岡 冬の貯金キャンペーン
食の王国静岡プレゼント

静岡県内の自慢のいっぴんを集めたカタログギフトをお届けします。
20種類の商品の中から、好きなものを1つお選びいただけます。

対 象 キャンペーン期間中、静岡県内のJAで定期貯金1年
(スーパー定期)を新規で20万円以上、
お預けいただいた個人の方

抽 選 権 ご契約20万円ごとに抽選権を1本付与
※抽選日前に解約された場合、抽選権は無効となります。

抽選・当選結果 抽選日: 2月2日(木)
公表日: 2月8日(水)以降
当選された方には、2月末までに「農畜産物カタログギフト」を送付します。

※既に当JAにお預けいただいている定期貯金から、本商品に切りかえることはできません。
※中途解約する場合は、当JA所定の中途解約利率を適用します。
※自動継続時の利率は、店頭表示金利となります。
※ATM定期貯金とメリットのおまとめ対象定期貯金は対象外となります。
※利息に20.315%(国税15.315%、地方税5%)が分離課税されます。
※詳しくはお近くのJALしみず窓口までお気軽におたずねください。

第16回「地元茶でもてなす会」

日 時 2月19日(日)
10:00~15:00(受付9:30~)

場 所 巨龍山 清見寺
(静岡市清水区興津清見寺町418-1)

参加費 1人 700円 (小学生以下無料)
※旧まちクラブ会員は、会員証持参で500円。
※別途有料イベントもあります。
※事前のお申し込みは必要ありません。
直接会場へお越しください。


内 容


- ① 茶の飲み当て「茶歌舞伎」※当日要予約
- ② 若手生産者による呈茶席・販売
- ③ 県品評会出品茶・幸せのお茶まちこの茶席
(1席300円・菓子付、2席500円)
- ④ オリジナルのブレンド茶づくり(有料)
- ⑤ 清見寺見学ツアー
- ⑥ 和菓子職人による実演販売
- ⑦ 農産物・手打ちそばなどの販売

その他、多くのイベントをご用意しています!
※イベントはやむなく変更・中止する場合がございます。

特 典 入場者全員に
豆茶碗&一煎バックをプレゼント!

お問い合わせ 清水みんなのお茶を創る会
(事務局/JALしみず茶業センターさらい) TEL:054-365-1600

 ■第15回地元茶でもてなす会の様子



しみの風

2017
1
No.519



C O N T E N T S

- ① 表紙/
しみの風 農産物 いろはカルタ
~ポンカン~
タイトル文字:クリエイティブ書家 岩科蓮花
- ② 新春のごあいさつ/
代表理事組合長 柴田篤郎
- ④ 特集/
アグリフェスタしみず2016
レポート/アンケート結果
- ⑦ アグリウォーキングしみず2016
- ⑧ TOPICS
- ⑩ 組合員とともに取り組む
次期3か年計画樹立へ
- ⑪ リスクアドバイザー 赤堀の
ちょっといい話
- ⑫ カラダにうれしい 旬レシピ♪
「白ネギのしぞ〜かアヒージョ」
- ⑬ ハーベストカレッジ
「ミカンの収穫体験&柑橘共選場の見学」
- ⑭ Information
- ⑯ ワンパクしみずっ子「あいわ保育園」

**「しみの風」が
動画になりました!**

スマートフォン、タブレット、パソコンから
記事の一部が動画でご覧になれます。

 You Tube
MOVIE 配信中



2017年オリジナルカレンダー 清水区の教育機関へ贈呈

昔から愛されてきた知恵や教えの宝庫「いろはかるた」の意味を清水の農産物で絵解きした2017年の当JAカレンダー「しみずの農産物いろはかるた」を清水区に贈呈しました。

小川通博専務が12月8日に清水区役所を訪れ、子どもたちの教育に役立ててほしいと村岡弘康清水区長と広報キャラクター「シズラ」にカレンダーを手渡しました。カレンダーは、区内すべての保育園・幼稚園・こども園と小・中学校の各クラス、各地域の生涯学習交流館へ配布しました。



村岡区長にカレンダーを手渡す小川専務(左)

特産果樹の魅力PR 高校生デザインの ポスター&チラシが完成

静岡市産の果樹の消費拡大を進める「しずおか果樹百景プロジェクト」は、若い女性をターゲットにしたポスターとチラシを昨年12月に作成し、市内青果店やJAの販売施設に配布しました。プロジェクトは、当JAとJA静岡市、県、市が行うもの。

デザインは、静岡県立駿河総合高校2年生の生徒が手掛け、26人の作品の中からプロジェクトメンバーが選考。最優秀作品1点をポスター、優秀作品2点をチラシに採用しました。1つの作品の中に青島ミカンやはるみ、梨、プラムなど特産の果樹が盛り込まれ、バラエティ豊かな果実の魅力を訴えるデザインになっています。



デザインが採用された
駿河総合高校の生徒たち

左から、山田美楓さん、
永嶋拓人さん、牛丸あやめさん

理事会だより

定例理事会：11月25日(金)



議事

- 2016年度上半期経営状況の開示について

- 静岡ジェイエイフーズ株式会社が行う借入申込(減額更改)に対する債務保証及び担保提供について
- 組合員の出資口数減少の申し出について
- 静岡市土地利用審査会委員の推薦について
- 静岡市開発審査会委員の推薦について
- 冬期賞与の支給について

読者のお便り

「11月号の旬レシピ「レッドオールのミースロー」は、さっそく作ってみました。トマトは最高！ミースローを添えて栄養満点！」



写真は11月号より掲載。

しらゆりさん 清水区駒越東町

師走です。
みかんを食べて元気に！



深澤しげ子さん 清水区小島町

小さな出会いを大切に
したいですね！

名も知らぬ
花に出会えた
散歩道

松井照代さん 清水区八坂東

おたよりはもちろん、短歌、俳句、川柳、絵手紙、イラスト、写真など、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています！郵便番号、住所、氏名(必要な方はペンネーム)、年齢、電話番号、写真には簡単なコメントをお書き添えの上、ご応募ください。採用された方にはお米券を差し上げます。

郵便 〒424-0192 静岡市清水区庵原町1番地
JAしみず広報課 宛

FAX 054-364-8851

MAIL ja-shimizu@shimizu.ja-shizuoka.or.jp

携帯電話からの
応募はこちら



編集後記

明けましておめでとうございます。自己改革が騒がれる中、JAが組合員の皆様、地域の皆様のお役に立てているのか、改めて考える時期が来ています。今年は合併45周年。先人の尽力により作られてきた歴史を、今一度振り返り、更なる活動を進めていくことが必要になります。「あって良かった」から「無くてならない」存在をめざし、広報課も取り組んでいきます。(伊藤)

「もういくつ寝るとお正月♪」なんて、待ち遠しかったのは、はるか昔。大掃除が新年に間に合わず、締めりのないままバタバタと年が明けなのが最近のパターン。年々、一年が過ぎるスピードが早くなっているのを身を持って感じます。一日一日を大事にしていけるよう、気を引き締めていきます！2017年も皆さまにとって良い一年となりますように。(杉山)

新年明けましておめでとうございます。ここ数年のお正月は、道路の渋滞に文句を言いながら厄除けだんごで有名な法多山へ行き、人の多さに文句を言いながら帰ってくるのが恒例行事になっています。今年も健康で明るい1年にしたい、そんな大雑把な目標を第一に掲げ、メリハリをつけて日々の生活を過ごしていけたらと思います。(佐藤)

ワンパワ みずっ子



みんなで仲良く、こねこね…



あいわ保育園
清水区下野町

園庭で育てたサツマイモを使って
Let's クッキング!

ちゃんと
混ぜたかな？



平らにして、
蒸したら
できあがり！

0～5歳児55人の子どもたちが通うあいわ保育園。
3～5歳の異年齢クラス「たけんこ組」のみんなで
サツマイモのお団子を作りました。

みんなのサツマイモで
おやつを作ったよ



蒸かした
サツマイモを潰して、
白玉粉、お豆腐と
一緒に混ぜます



サツマイモ
まだあったかいね



たけんこ組は、
異なる年齢の子どもたちが
きょうだいのように1日一緒に過ごすので、
自然と思いやりや助け合いの気持ちが芽生えます。



よいしょ、
よいしょ。



出演募集

このコーナーでは、ご出演いただける清水区内のこども園や
保育園、幼稚園を募集しています。詳しくは左記のJA広報課まで！

14ページ
QRコードで
チェック!



2017年1月1日発行
(毎月1回1日発行)
通巻519号

あなたの立場で一生懸命
JAしみず

発行 | 清水農業協同組合 〒424-0192 静岡県静岡市清水区庵原町1番地
編集 | 総務部 広報課 Tel.054-367-3221 Fax.054-364-8851
http://www.ja-shimizu.org